

第72回

日本太鼓全国講習会

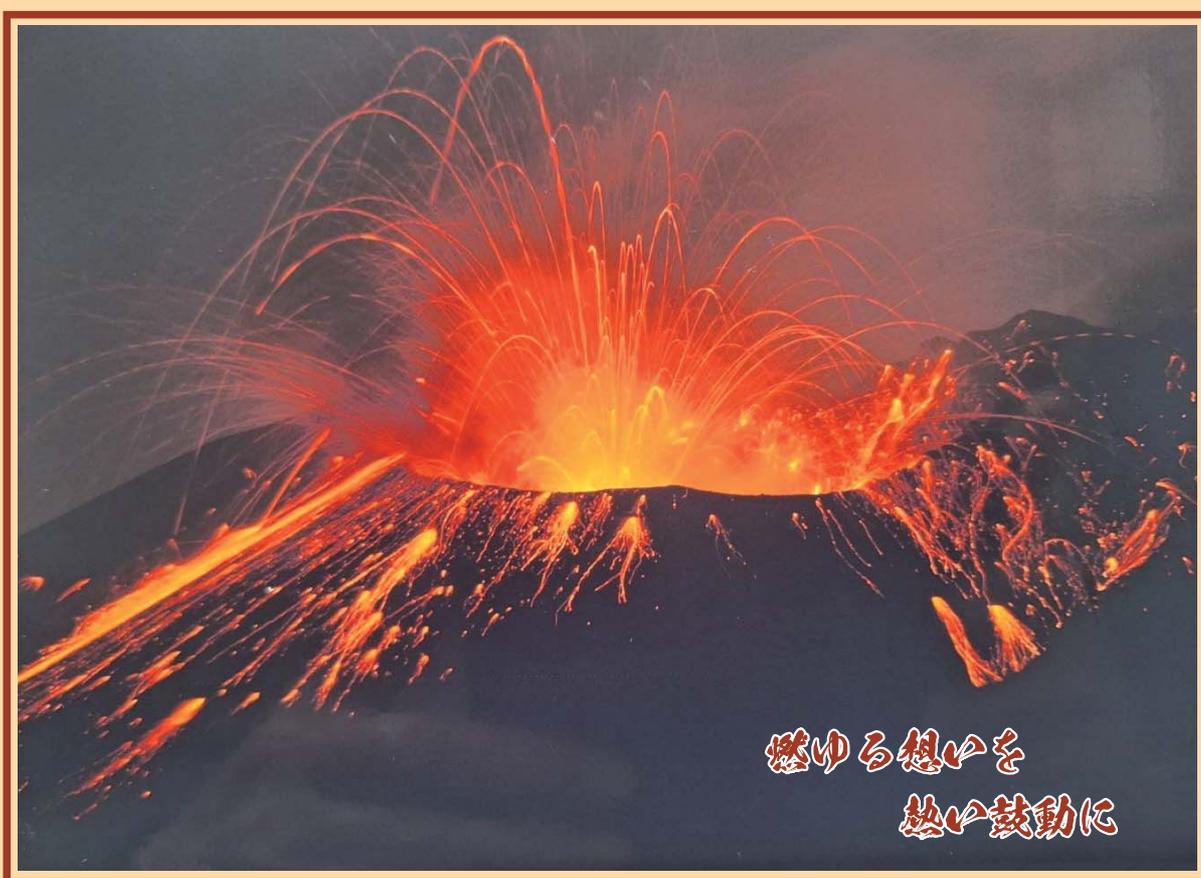


PHOTO 橋口 実昭

期 日 2025年2月22日（土）・23日（日）

会 場 鹿児島県鹿屋市 国立大隅青少年自然の家

主 催  日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団鹿児島県支部

後 援 文化庁、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿屋市、鹿屋市教育委員会、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

会長 長谷川 ^{ただし}義

本日は、第72回日本太鼓全国講習会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

当財団は現在47支部（43都道府県）を設け、加盟団体数約650団体、会員総数約17,000人を数えております。また、これまでジュニアコンクールをはじめとするコンクール事業や、日本太鼓ジャンボリーなどの演奏会事業を開催しました。さらに、技能向上を推進するための全国講習会による資格認定事業など、国内での普及活動はもとより、47ヶ国に及ぶ世界の国々で太鼓を通じた国際交流を実施してまいりました。

この講習会は日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行われており、現在公認指導員220人（海外24人）、技術認定員13,304人（海外2,568人）が講習会で学んだことを活かして各地で活躍されています。本日、参加される皆さまには、公認指導員の資格を持つ素晴らしい講師の指導のもと、技術を習得するだけでなく、太鼓の歴史や礼節も学んでいただきたいと思っております。さらに、全国の仲間と交流を図り、思い出に残る講習会になりますことを期待しております。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びボートレース関係者、また本講習会にご支援ご協力をいただきました文化庁、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿屋市、鹿屋市教育委員会をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の全九州太鼓連合、日本太鼓財団鹿児島県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。



全九州太鼓連合

会長 岩切 邦光

第72回目を迎えた日本太鼓全国講習会が、鹿児島県鹿屋市において開催されますことは、九州7県の会員一同、大変喜ばしく光栄に存じます。

九州の地では、1998年度に鹿児島県霧島市で開催された「第2回日本太鼓全国講習会」からスタートし、以来、これまで九州で開催された全国講習会は今回で24回目を数えるまでになりました。その成果として、本会が主催する全九州・日本太鼓ジュニアコンクールでは、毎年各県大会の上位団体が出場しますが、回を追うごとにレベルが上がってきております。

その理由の一つとして、各県の上位に入ってくる団体は、「基本」の重要性を理解し、よく練習しています。選手である子供たちも、その指導者も和太鼓に対する正しい知識や技術を学ぶことはとても大切なことであり重要なことです。そういった意味で、今回開催される全国講習会も特に意義のあるものであり、受講される皆様におかれましても、収穫の多い実りある講習会になると確信しておりますので、ぜひ、多くのものを学び身につけていただきたいと思っております。

また、本講習会は、全国各地から参加して一緒に学ぶことから、受講を通して交流の場を広げ、友達を増やしていただきたい。そして、太鼓をしていなければ知り得なかった方とのご縁を今後も大切にして、全国に和太鼓でつながった友達が大勢できることを期待しております。こうしたつながりができていくことが、今後の和太鼓界の発展にもつながっていくものと信じております。

結びに、本講習会の開催にあたり、ご支援をいただきました文化庁、鹿児島県、鹿屋市など、多くの関係団体の皆様に心より御礼申し上げます。

また、遠く九州の地にご足労いただきました講師の先生方に対しまして、心より感謝申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



日本太鼓財団鹿児島県支部

支部長 牧尾 正臣

皆さま、この度はようこそ鹿児島県鹿屋市にお越しいただきました。日本太鼓財団鹿児島県支部支部長として心から御礼を申しあげ、歓迎いたします。

鹿児島県で全国講習会を開催するのは2015年以来5回目です。今回の開催地である鹿屋は、薩摩というより大隅と呼ばれていますが、ここからも独特な地形を持つ錦江湾と雄大な桜島を眺めることができます。

今回の講習会では、参加される皆さまに日本太鼓の基本を修得していただくことはもとより、ここで学んだ技術や知識を地域の発展や文化の継承、青少年の育成にお役立ていただければ幸いです。

そして、大切な目的のひとつとして、受講生同士の親睦を深めることがあります。かつて幕末の福岡藩の平野国臣ひらのくにのみという志士は、桜島を見て次の短歌を詠んでいます。

「わが胸の燃ゆる思いにくらぶれば煙はうすし桜島山」

自分の胸に秘めた志にくらべたら、火の山の煙も薄いものだという歌です。胸の内にあるのは燃えたぎる太鼓への情熱です。そしてその情熱は、太鼓を打つパワーにもなります。九州のそれぞれの火山が地下深くでつながるマグマのように、私たち太鼓打ちは熱い情熱でひとつにつながっています。今回も日本のみならず台湾からも多くの太鼓打ちにお越しいただいております。皆さまが熱い友情を育まれることを期待しております。

鹿屋での講習の二日間は、有意義なものとなりますようにご祈念いたしますとともに、本大会のために、ご指導される講師の先生方、公益財団法人日本太鼓財団、全九州太鼓連合および鹿児島県支部のスタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

第72回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の技術向上と指導者を育成することにより、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2025年 2月 22日(土) 10:00(受付開始 9:00)
23日(日) 11:30 講習終了
* 専門講座を受講された方は、講話(長谷川義氏)を13:30より受講後、14:30頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13:45より実施します。
3. 講習会場 国立大隅青少年自然の家(鹿児島県鹿屋市)
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団鹿児島県支部
6. 後援 文化庁、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿屋市、鹿屋市教育委員会、日本財団
7. 講習内容
 - (1) 総合指導 松 枝 明 美 氏(技術委員会委員長)
 - (2) 基本講座 3級基本講座 野 方 嘉 孝 氏(佐賀県)
4級基本講座 若 山 雷 門 氏(岐阜県)
5級基本講座(初心者講座) 高 島 奈 々 氏(岐阜県)
 - (3) 専門講座 単式単打法講座(担ぎ桶太鼓) 岩 切 邦 光 氏(橘太鼓「響座」・宮崎県)
単式複打法講座 古 屋 邦 夫 氏(御諏訪太鼓保存会・長野県)
複式複打法講座 長 谷 川 準 氏(豊の国ゆふいん源流太鼓・大分県)
専門講座講話 長 谷 川 義 氏(日本太鼓財団会長)
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約200名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行ってください。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参してください。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参してください。
カシバチ 太さ 7.5分~8.0分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
太さ 6.0分~6.5分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
* 専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受検希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受検資格並びに方法

○1級技術検定

2級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に3回合格する必要があります。
専門講座のうち1つを受講して下さい。
なお、最終検定を受ける方は、論文（1,400～1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○2級技術検定

3級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に2回合格する必要があります。
専門講座のうち1つを受講して下さい。
なお、最終検定を受ける方は、論文（600～800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。（パソコンで作成の場合、マス目付き原稿用紙に設定して下さい。）

○3級技術検定 4級技術認定員のみ受検できます。

○4級技術検定 5級技術認定員のみ受検できます。

○5級技術検定 10歳以上であれば初心者を含めどなたでも受検できます。
（2025年4月1日までに10歳を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1級認定料 20,000円、 2級認定料 10,000円、 3級認定料 8,000円、

4級認定料 5,000円、 5級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受検方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が1人1冊必要となります。お持ちでない方は、受付でお求め下さい。

第72回日本太鼓全国講習会・日程表

(鹿児島県鹿屋市)

第1日目 2025年2月22日(土)

時 間	進 行	国立大隅青少年自然の家	備考
9:00	受付開始(9:45までに終了して下さい。) 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。		
	*男子更衣室:		
	*女子更衣室:		
9:10	*講習内検定打合せ会(基本講座講師・講習内検定参加者)		
10:00	開会式 国歌斉唱 あいさつ (公財)日本太鼓財団 長谷川 義 会長 全九州太鼓連合 岩切 邦光 会長 日本太鼓財団鹿児島県支部 牧尾 正臣 支部長 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞		
10:30	講師模範演奏 オリエンテーション 記念写真(講座別) *各会場へ移動		
11:00	昼食・休憩		
12:00	総合指導 講師:松 枝 明 美 氏		
	3級基本講座 講師:野 方 嘉 孝 氏		
	4級基本講座 講師:若 山 雷 門 氏		
	5級基本講座 講師:高 島 奈 々 氏		
	単式単打法講座(担ぎ桶太鼓) 講師:岩 切 邦 光 氏		
	単式複打法講座 講師:古 屋 邦 夫 氏		
	複式複打法講座 講師:長 谷 川 準 氏		
16:30	講習終了 講習内検定反省会:		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2025年2月23日(日)

時 間	進 行	国立大隅青少年自然の家	備考
8:45	朝の集い(体操用に運動着を着用のこと) *荷物は各講習会場に持参		各会場
9:00	総合指導	講師:松 枝 明 美氏	
	3級基本講座	講師:野 方 嘉 孝氏	
	4級基本講座	講師:若 山 雷 門氏	
	5級基本講座	講師:高 島 奈 々氏	
	単式単打法講座(担ぎ桶太鼓)	講師:岩 切 邦 光氏	
	単式複打法講座	講師:古 屋 邦 夫氏	
	複式複打法講座	講師:長 谷 川 準氏	
11:30	講習終了 成果発表会準備		移動・準備
11:45	各講座成果発表会(1・2級技術検定試験)		
12:15	閉講式 あいさつ (公財)日本太鼓財団 日本太鼓財団鹿児島県支部		
12:30	昼食・休憩		
13:20	専門講座成績発表		
13:30	専門講座講話	講師:長 谷 川 義氏	

<以降、検定受検者のみ>

13:30	検定試験説明		
13:45	検定試験(筆記) 5級→3級→4級 終了次第、実技試験を受検		
	検定試験(実技) 4級→3級→5級 終了次第、学科試験を受検 待機場所:		
15:30 (予定)	成績発表 (全員) *合格者は手続き終了後解散		
16:00 (予定)	終了		

講師プロフィール



総合指導

講師 松 枝 明 美

和太鼓すわびと（長野県）代表

（公財）日本太鼓財団技術委員会技術委員長

（公財）日本太鼓財団 1 級公認指導員

- 長野県に生まれる。
- 1980年 御諏訪太鼓に入門、宗家故・小口大八氏に師事。以来、国内外の演奏活動や指導に携わり、海外チームを含めた全国各地の指導団体は100チームを超える。
- 1996年 全日本太鼓連盟、翌年財団法人日本太鼓連盟（現、公益財団法人日本太鼓財団、以下同）1級公認指導員に認定。
- 1998年 長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。
- 2007年 ブラジル訪問。移民100周年記念1,000人太鼓の合同曲及び太鼓講習会で指導を行う。2020年に2回目のブラジル訪問を行い、ブラジル太鼓講習会で講師を務める。
同年、「第1回全台湾太鼓講習会」開催に伴い、講師として台湾を訪問。
以来毎年講師を務め指導に携わる。
- 2008年～2020年 長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長に就任。
- 2020年～2024年 和太鼓すわびとを立ち上げる。同年、公益財団法人日本太鼓財団技術委員に就任。
- 2024年 公益財団法人日本太鼓財団技術委員長に就任。第21回日本太鼓シニアコンクールにて名人位(内閣総理大臣賞)受賞。



基本講座

「3級基本講座」

講師 野 方 嘉 孝

大和太鼓保存会（佐賀県）代表

（公財）日本太鼓財団技術委員会技術委員

（公財）日本太鼓財団 1 級公認指導員

全九州太鼓連合 理事長

佐賀県太鼓連合 名誉会長

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1953年 佐賀県に生まれる。
- 1989年 佐賀県大和町街おこし事業の一環で大和太鼓保存会を結成。
創立メンバーにて1998年4月会長に就任。
- 2010年1月～2022年3月 佐賀県太鼓連合会長を務める。
(2010年3月 佐賀県太鼓連盟を吸収合併)
- 2012年5月 全九州太鼓連合副会長に就任。
- 2012年8月 公益財団法人日本太鼓財団 1 級公認指導員に昇級。
- 2016年12月 第13回日本太鼓シニアコンクールにて名人位(文部科学大臣賞)を獲得。
- 2022年4月 佐賀県太鼓連合名誉会長に就任。
- 2022年5月 全九州太鼓連合理事長に就任。
- 2024年7月 公益財団法人日本太鼓財団技術委員に就任。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 若山 雷門

日本太鼓集団 / 鼓国雷響プロジェクト (岐阜県) 代表
(公財) 日本太鼓財団技術委員会技術委員
(公財) 日本太鼓財団1級公認指導員

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1952年 岐阜県に生まれる。
- 1969年 17才にして夏祭りの樽太鼓に心ひかれ桴を握る。
- 1980年 日本の太鼓まつり出演を皮きりに太鼓曲の作調、振り付け及び育成指導と併せて国内外に演奏活動を展開する。
- 1984年 荘厳な神話の歴史を貫いて誕生した世界最大級「ん太鼓」(直径24m)の打頭となり「ん太鼓奉賛会」より鼓号「雷門」を襲名する。また、中部圏を基盤に日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクトを創設し、それぞれ地域の観光、地場産業振興のために民俗芸能を継承している。
- 1996年4月 KOKOKURAIKYOU-HEADTEAM「鼓国雷響 JAPAN」を JAPAN 代表雷華と共に旗揚げした。
- 各地団体の指導を行ない、既にその数100チームを越える。
- 2011年5月～2015年3月 公益財団法人日本太鼓財団岐阜県支部代議員、岐阜県支部副支部長を歴任した。
- 2024年7月 公益財団法人日本太鼓財団技術委員に就任。



基本講座

「5級基本講座」

講師 高島 奈々

岐阜神代響太鼓 (岐阜県) 代表
(公財) 日本太鼓財団技術委員会技術委員
(公財) 日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団岐阜県支部 事務局長

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 岐阜県に生まれる。
- 1994年 岐阜市地元保存会に加入し太鼓をはじめ。翌年、奥州猿羽流 宗家龍 連山氏を師事とし大太鼓道を習得。その後、組太鼓を御諏訪太鼓保存会宗家故・小口大八氏と古屋邦夫氏に、盆太鼓を助六太鼓家元今泉豊氏に師事。全日本太鼓連盟(現・公益財団法人日本太鼓財団、以下同)の講習会に積極的に参加。
- 1998年 長野冬季オリンピック閉会式の出演を機に故・小口氏より「岐阜神代響太鼓」と名をいただき姉妹で太鼓活動を始める。
- 2003年4月 日本太鼓財団岐阜県支部・岐阜県太鼓連盟理事就任。
- 2006年7月 公益財団法人日本太鼓財団1級公認指導員に昇級。(5級技術認定員より昇級したのは日本太鼓資格認定制度開始以来初)
- 2019年4月 日本太鼓財団岐阜県支部・岐阜県太鼓連盟事務局長に就任。
- 2024年7月 公益財団法人日本太鼓財団技術委員に就任。

講師プロフィール



専門講座

単式単打法講座（担ぎ桶太鼓）

講師 岩切 邦光

橘太鼓「響座」（宮崎県）

（公財）日本太鼓財団評議員

（公財）日本太鼓財団1級公認指導員

全九州太鼓連合 会長

- 1965年 宮崎県に生まれる。
- 1985年 太鼓を始める。
- 1991年 橘太鼓「響座」結成。
- 1992年 宮崎県太鼓連合を結成、同連合会長に就任。
- 1992年 全九州太鼓連合会長に就任。
- 2010年4月 財団法人日本太鼓連盟（現・公益財団法人日本太鼓財団、以下同）運営委員に就任。
- 2020年6月 公益財団法人日本太鼓財団評議員に就任。



専門講座

単式複打法講座

講師 古屋 邦夫

御諏訪太鼓保存会（長野県）会長

（公財）日本太鼓財団副会長

（公財）日本太鼓財団技術委員会技術顧問

（公財）日本太鼓財団1級公認指導員

中日本太鼓連合 会長

日本太鼓財団長野県支部支部長

- 1948年 長野県に生まれる。
- 1967年 御諏訪太鼓に入門、宗家故・小口大八氏に師事。
- 1970年 故・小口氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。同年信州太鼓連盟（現・長野県太鼓連盟）の発足に携わる。
- 1978年 長野県やまびこ国体集団演技太鼓の部で県内チームを指導。以降、170チームを超える各地の団体を指導。海外でも数多くの公演を行い、また多くの海外チームを指導。
- 1996年 全日本太鼓連盟、翌年財団法人日本太鼓連盟（現、公益財団法人日本太鼓財団、以下同）1級公認指導員に認定。
- 1998年～2024年 長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。財団法人日本太鼓連盟技術委員長に就任。
- 2008年 長野県支部支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。
- 2015年 第12回日本太鼓シニアコンクールにて名人位（文部科学大臣賞）受賞。
- 2019年 中日本太鼓連合会長に就任。
- 2024年 公益財団法人日本太鼓財団副会長、技術委員会顧問に就任。

講師プロフィール



専門講座

複式複打法講座

講師 長谷川 準

豊の国ゆふいん源流太鼓（大分県）代表
（公財）日本太鼓財団技術委員会技術委員
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団大分県支部 支部長
全九州太鼓連合 会長代行

- 1978年 大分県湯布院町に生まれる。
- 初代の源流少年隊として活躍。
- 2001年～ 豊の国ゆふいん源流太鼓のメンバーとして本格始動。
- 2002年～ 財団法人日本太鼓連盟（現・公益財団法人日本太鼓財団）の国際交流事業として、韓国、中国、スペイン、モロッコ、チュニジア、台湾、フランス、ウズベキスタンなど、世界各地で太鼓演奏を行い、現地の観客から喝采を受ける等、大成功を収めた。その力強く迫力ある演奏は、日本の伝統文化を超えて、圧倒的な存在感を放っている。
- 2024年7月 公益財団法人日本太鼓財団技術委員に就任。
- 2024年8月 日本太鼓財団大分県支部支部長に就任。



専門講座

講話

講師 長谷川 義^{ただし}

豊の国ゆふいん源流太鼓（大分県）創始者
（公財）日本太鼓財団 会長
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
全九州太鼓連合 名誉最高顧問

- 1951年 大分県湯布院町に生まれる。
- 1979年 長い歴史の中を名も無く、営々と打ち伝えられてきた由布院のリズムを現代に引き継ごうと「豊の国ゆふいん源流太鼓」を設立。
- 1993年 全九州太鼓連合発足、名誉最高顧問として現在に至る。
- 1998年～2008年 財団法人日本太鼓連盟（現・公益財団法人日本太鼓財団、以下同）理事を務める。
- 2007年 「豊の国ゆふいん源流太鼓」が由布市の無形文化財に指定される。
- 2008年～2022年 財団法人日本太鼓連盟副会長を務める。
- 2011年11月 第8回日本太鼓シニアコンクール名人位（文部科学大臣賞）受賞。
- 2021年11月 第18回日本太鼓シニアコンクール名人位（内閣総理大臣賞）受賞。
- 2022年6月 公益財団法人日本太鼓財団会長に就任。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30歳以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10歳以上の年齢に達した者。

2024年度の主な事業活動

◇日本太鼓ジャンボリー 2024（終了）

期 日：2024年6月19日（日）
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

◇第9回大学太鼓フェスティバル（終了）

期 日：2024年8月28日（水）
場 所：タワーホール船堀大ホール（東京都江戸川区）
主 催：大学太鼓連盟
協 賛：公益財団法人 日本太鼓財団
出演団体：13団体

◇第26回日本太鼓全国障害者大会（終了）

期 日：2024年10月6日（日）
場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール（奈良県大和郡山市）
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：日本太鼓財団奈良県支部
出場団体：23団体

◇第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭「清流の国ぎふ」文化祭 2024（終了）

期 日：2024年10月20日（日）
場 所：不二羽島文化センター大ホール（岐阜県羽島市）
主 催：文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員、
羽島市、羽島市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭 2024 羽島市実行委員、
公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団岐阜県支部、岐阜県太鼓連盟
出演団体：32団体

◇第8回浅草太鼓祭（終了）

期 日：2024年11月3日（日・祝）
場 所：隅田公園山谷堀広場（東京都台東区）
主 催：浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部
特別協賛：公益財団法人 日本太鼓財団
出演団体：24団体

◇第21回日本太鼓シニアコンクール（終了）

期 日：2024年11月17日（日）
場 所：石川県小松市團十郎芸術劇場うらら（石川県小松市）
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：32組

◇第27回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2025年3月23日（日）
場 所：iichiko グランシアタ（大分県大分市）
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部
出場団体：45団体

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 47支部 (43都道府県)

<加盟団体数> 約650団体

<会 員 総 数> 約17,000人

<役 員>

会 長	長谷川 義	全九州太鼓連合名誉最高顧問
副 会 長	古屋 邦夫	中日本太鼓連合会長
常務理事	佐々城 清	常 勤
理 事	相澤 佳余	(公財) ニッポンドットコム常務理事
理 事	太田 義高	日本太鼓財団北海道連合会会長
理 事	玉澤 正徳	(公財) 笹川スポーツ財団常務理事
理 事	山内 強嗣	(福) 富岳会理事長
理 事	湯澤 元一	関八州太鼓連合会長

<評 議 員>

評 議 員	浅野 昭利	(一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
評 議 員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評 議 員	河合 睦夫	富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員	小林 一郎	(株) イー・シー・エー代表取締役
評 議 員	佐藤 淳子	元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
評 議 員	田中 泰秀	NPO法人東京都太鼓連合理事長
評 議 員	中西 由郎	元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
評 議 員	西川恵美子	尾張新次郎太鼓保存会会長
評 議 員	吉倉 和宏	日本財団常務理事

<監 事>

監 事	伊藤 勝彦	弁護士 ITN法律事務所
監 事	金子 明	(公財) 笹川保健財団監事

(五十音順・敬称略)

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第73回日本太鼓全国講習会

期 日 2025年8月頃

開催地 富山県

◇第74回日本太鼓全国講習会

期 日 2026年2月頃

開催地 福岡県

*各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式サイトまたは財団事務局
(Tel. 03-6205-4377) までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2025年2月現在)

区分 級	公認指導員	技術認定員
1級	43名	222名
2級	28名	450名
3級	149名	1,529名
4級	—	2,772名
5級	—	8,358名
計	220名	13,331名



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp